

TRUST TEAM EXCELLENCE

業務遂行と倫理における行動規範
IDEX Corporation 倫理行動規範

IDEX
CORPORATION

1

インテグリティ(誠実)溢れる行動を世界中で

- 05 CEOからのメッセージ
- 06 この規範は世界的に適用します
- 07 倫理に基づく意思決定
- 08 リーダーが基調を設定
- 09 本規範に基づくあなたの責任
- 10 不正を見かけたら声を上げてくださいー聞き届けます
- 11 当社規範のアドバイスとガイダンスを得るには

2

TRUST, TEAM, EXCELLENCE

TRUST	TEAM	EXCELLENCE
13 腐敗行為の禁止(贈収賄/リベート)	19 職場の安全性	25 正確で誠実な業務記録
13 公平な競争	20 一体性と多様性の重視	25 製品の完全性と品質
14 利益相反の開示と修正	20 相互に敬意を持って接し合う	25 データプライバシー
15 不正行為	20 差別	26 機密・極秘情報と知的財産
15 インサイダー取引	21 セクシャルまたはその他のハラスメント	26 サイバーセキュリティ
16 法人融資	21 オープンドアポリシー	27 競合情報と競合他社情報
16 サプライヤーの選定とパフォーマンス	22 ドラッグとアルコール	27 監査、捜査および政府の聞き取り調査に協力
16 当社製品の公平な広告と販売促進	22 暴力、脅迫と武器	28 会社の資産保護と会社の電力資源の使用
17 贈答品のやりとりや接待に責任を負う	23 慈善事業と政治的貢献	29 ソーシャルメディア
17 マネーロンダリングの防止	23 世界的なコーポレート・シチズンシップとコミュニティ・サービス	30 メディアへの広報窓口
17 児童就労、奴隷制および人身売買	23 就業時間中の勧誘禁止	30 法的手続き
		30 環境保全
		31 国際取引
		32 政府顧客に適用される規定に従う
		32 記録の保存

3

ホットラインへの連絡

- 34 ホットラインに連絡する際に求められること
- 35 倫理ホットラインへの連絡方法

4

規範の管理

- 37 責任
- 37 年次認定とトレーニング
- 37 規範の改訂
- 37 当社の行動規範の権利放棄
- 38 基本ポリシー

世界のどこにいても、
どのビジネスユニットに
属していても、当社の
価値観は、私たちを
IDEXとして一つにする
大きな基盤となっています。

— ANDY SILVERNAIL





1 インテグリティ(誠 実さ)溢れる行動を 世界中で



従業員の皆さん

当社の倫理行動規範の改訂をお知らせいたします。当社の規範のアップグレード版では、インテグリティ(ビジネス・業務に誠実に取り組むこと)への取り組みを強化し、IDEX で求められる行動基準を明確に理解出来るように作成しました。

皆さんが世界のどこにいても、どのビジネスユニットに属していても、ここにある当社の価値観は、私たちが IDEX として一つになる大きな基盤となっています。特に TRUST、TEAM、EXCELLENCE、この3つの言葉は、社内、そしてお客様に対して、日々の業務において、その実現を約束すべきものであります。

こういった価値観の実践が何を意味するものなのかについて、この倫理行動規範は語っています。皆さんにはこれを読み、理解することが求められます。そしてさらに重要なことは、実践することです。この規範の目的は、IDEX として私たちの価値観と使命に沿った一つのコミュニティを構築することです。この規範は、私たち社員相互の、そしてステークホルダーへのコミットメントを示しています。これは私たちがお互いに、お客様に、サプライヤーに、そしてビジネスのコミュニティで出会うすべての人々に対してどのようにふるまうべきかについて、その根幹を示すものとなっています。

皆さんとともに、私が IDEX コミュニティの一員であることを誇りに思うとともに感謝します。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

ANDREW K. SILVERNAIL
代表取締役社長

この規範は全世界で適用されま

IDEX はグローバルな企業です。私たちは数多くの国や文化の中で、誇りをもって事業を展開しています。当社の従業員やお客様の多くは米国外にあり、当社は米国の法律だけでなく、事業を展開する地域での関連する法律すべてを遵守しています。このような複雑なグローバルビジネスの環境下で、また私たちが日々直面する状況において、何をなすべきかを知ることは、必ずしも簡単ではありません。疑問や不明点が出てきたら、その時はそれを伝え、サポートを受けましょう。

私たちは全員、この規範に従わなければなりません

経営陣、重役、従業員は必ずこの行動規範に従う必要があります。

皆さんがベンダー、コンサルタント、ディストリビューター、契約者、エージェントを監督している場合、彼らの行動が必ず本規範の基本原則に沿うように、皆さんがその業務を管理しなければなりません。私たちは IDEX を代表して、または IDEX と協業して事業を行っている誰もが、当社の高い倫理基準を維持することを要求しています。

「IDEX」とは(この規範の適用範囲)

当社の規範では、「IDEX」および「会社」という用語は IDEX 社とその世界中の子会社、関連会社、ビジネスユニットのすべてを意味します。

適用される法律

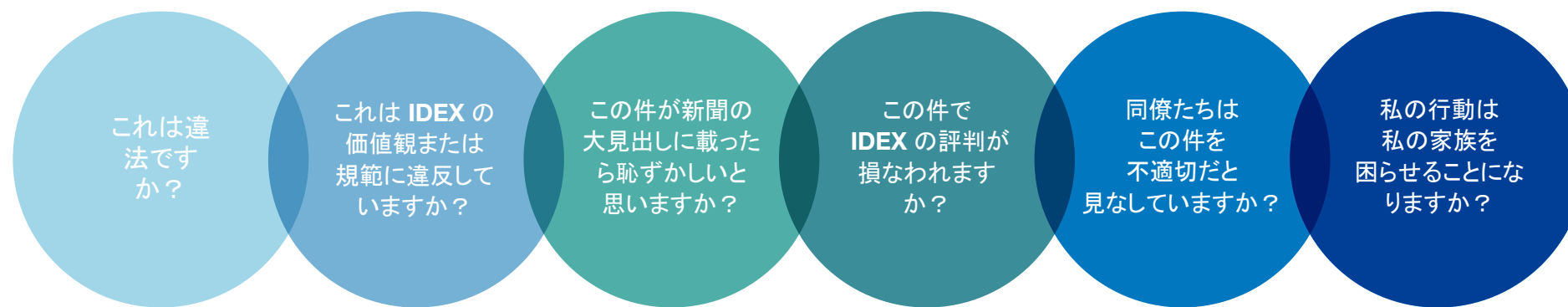
当社は世界中の多くの国々の法の支配の下で活動しています。従業員はすべての適用される政府の法律、規定、規制を遵守する必要があります。適用される法律との間に不一致が生じる可能性があると思われる場合、または特定の状況に対してどの法律が適用されるのか不明な場合は、法務部門までお問い合わせください。

倫理を尊重した意思決定を

正しい決定を行う

たとえ強固な意志と優れた判断力を最大限備えていたとしても、正しい意思決定を行うのは必ずしも簡単ではありません。この規範をガイドとして使用してください。

倫理面からビジネス上の意思決定を行う際に、自分に問いかけてください。



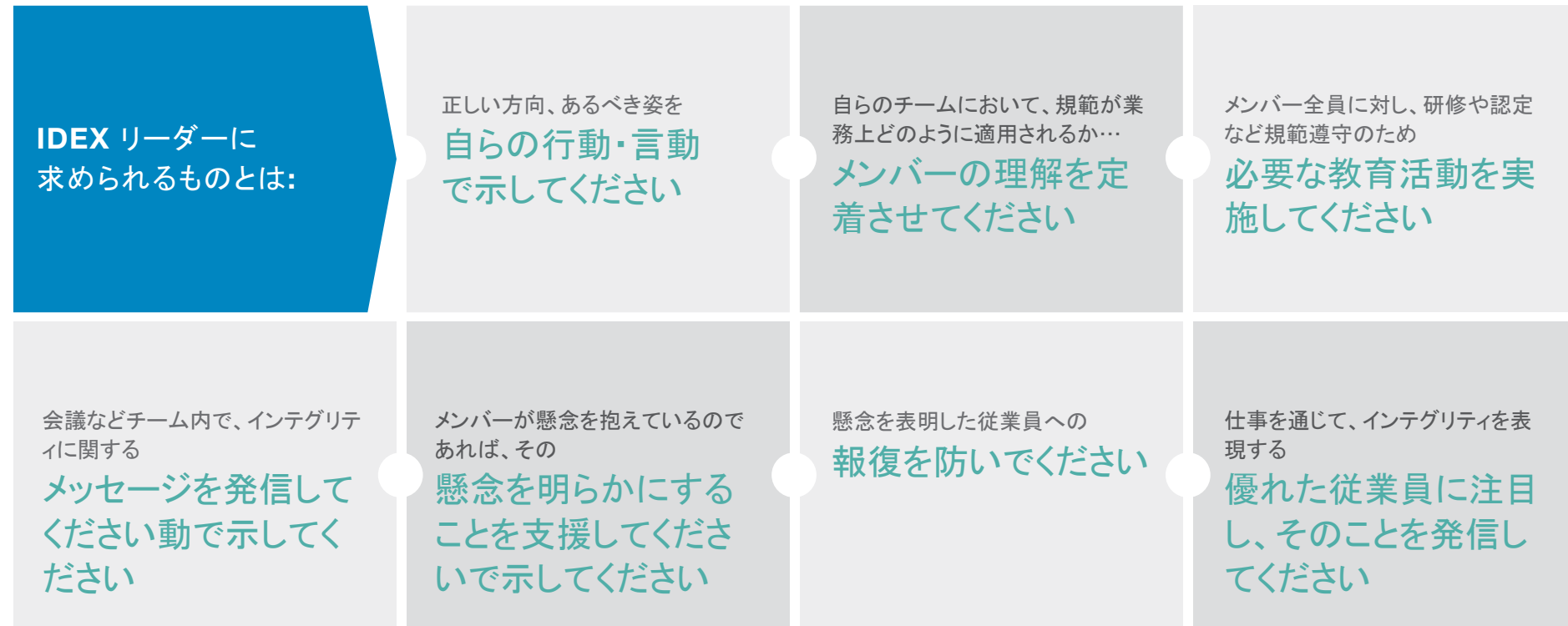
これらのいずれかの質問に対する答えが「はい」または「そうかもしれない」であった場合、決定を下す前にガイダンスを参照してください。

法令遵守違反の結果

規範の遵守は努力目標ではありません。必須事項です。私たちは規範の違反を重大事象と考えています。規範を守れない者はその責任を問われ、最悪の場合雇用契約終了を含む懲戒処分の対象となります。

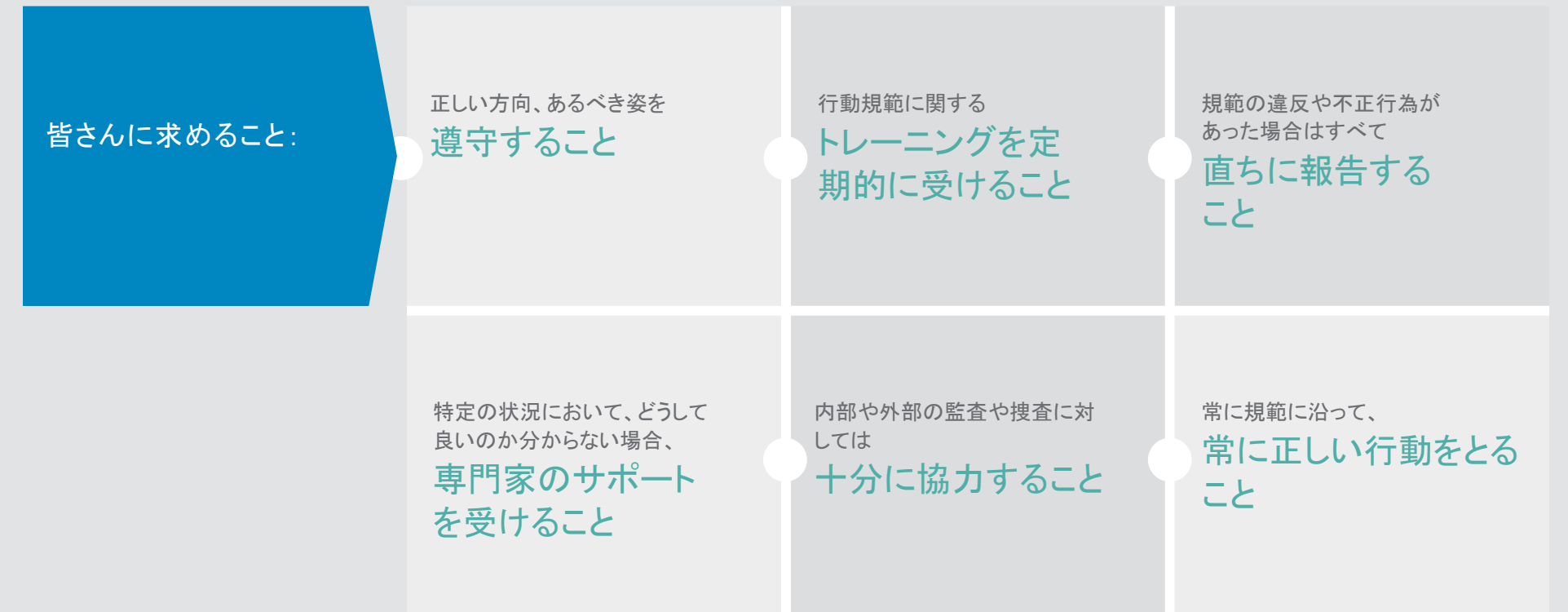
リーダーの率先垂範が

監督者や管理者が先頭に立ち、インテグリティ(ビジネス・業務に誠実に取り組むこと)に基づき行動するとはどういうことかを示すモデルとならなければなりません。



規範の下におけるあなたの責任

私たちは全員、規範を理解しそれに従うことが求められていますが、それだけではありません。



不正を見かけたら通報を… 会社はあなたの声に耳を傾けます

オープンドアポリシー

IDEX では、オープンドアフィロソフィーを採用しています。これは、従業員に懸念事項の報告することはもちろん、ガイダンスを求め、意見の表明することを歓迎・推奨するものです。従業員が、特にグレーゾーンの事柄に関して疑問を口にしやすいような環境を作ることが必要です。私たちはオープンで実直なコミュニケーションをサポートしています。

残念ながら、規則が破られることもあります。その場合、気づいた従業員はその問題を会社に伝えなければなりません。これにより問題を解決できるのです。実際、従業員が当社の規範、価値観、会社ポリシー、法律の違反の可能性に気付いた場合、その従業員にはその問題を会社に通報する義務があります。

正直に報告を

会社は懸念を誠実に告白した従業員を守ります。従業員は現地のプライバシーに関する法律で制限されていない限り、懸念を匿名で報告することができます。しかし、意図的に調査員に不正な告発をしたり嘘をついたり、あるいは欺いて判断を誤らせたりすることは規範に違反しています。そして、正直に報告することとは、従業員がその報告時に確かな証拠を握っていなければならない、あるいはすべての事実を把握していなければならないという訳ではありません。従業員は、自分がもたらす情報が正確で事実であるという、誠実な信念さえ持っていればよいのです。

その一方で、意図的に虚偽または誤解を与える報告を行った従業員は規範違反であり、よって最悪の場合雇用契約終了を含む懲戒処分の対象となります。

報復の禁止

IDEX は、従業員が報復を恐れることなく発言することを推奨し、その環境作りに取り組んでいます。懸念の表明をためらう人がいてはなりません。

IDEX は規範の違反、あるいは適用される法律や規制の違反の可能性に関する調査において、関連の発言をしたり、懸念を表明したり、情報を提供した人に対して嫌がらせをしたり、報復したりすることを許しません。報復の例としては、従業員に対して不利な雇用を行ったり(例えば解雇、降格、懲罰など)、従業員に嫌がらせをしたり、または不適切な方法で従業員を排除したりすることなどがあります。報復そのものが規範違反であり、最悪の場合雇用契約終了を含む懲戒処分の対象となります。

アドバイスやガイダンスが必要なときには…

IDEX では、質問に対する回答が得られる複数の手段があり、規範遵守についてのアドバイスとガイダンスを得ることができます。

シニアリーダーシップ(本社経営層)

IDEX のシニアリーダーシップチームは、事業を倫理的に、そして最大限誠実に行うことに取り組んでいます。このチームが当社の「リーダーの率先垂範」を推進しています。シニアリーダーシップは会社の全業務活動に関する質問に答え、ガイダンスを与えることができます。

マネージャー(あなたの上司/その他の管理職)

当社は疑問や懸念があれば、マネージャーに伝えることを推奨しています。ご自分のマネージャーに伝えることが躊躇される場合は、IDEX 社内の他のマネージャーに連絡してください。

人事部

人事部は、職場やその他労務関係に関連する質問に回答することができます。

法務およびコンプライアンス部

法務およびコンプライアンス部は規範や、法律やその他の規制を遵守してどのように事業を行うかについて、アドバイスやガイダンスをすることができます。

財務と内部監査

財務と内部監査部門は財務管理と会計関係の問題に関する質問に回答できます。

環境・衛生・安全 (EH&S)

環境・衛生・安全分野の担当役員と、およびそのサイトのEH&S リーダーは職場環境と従業員の安全衛生に関する問題についてアドバイスやガイダンスをすることができます。

ホットライン

ホットラインは24時間365日利用できます。ホットラインへの報告は匿名で行えます。IDEX では、ホットラインへの報告をすべて調査します。ホットラインに関する情報は35ページをご覧ください。

手を挙げて
助けを求めま
しょう

2 TRUST

責任を持ち、全力で取り組む姿勢を | 事実に基づき、信頼性・有能さ・透明性のある仕事を | 勇気と、誠実さと、思いやりをもった行動を

腐敗行為の禁止（贈収賄／リベート）

IDEX はいかなる種類の贈賄やリベートも厳格に禁止しています。贈収賄や腐敗行為は市場での公の信頼を損ないます。IDEX を代表して行動する従業員や第三者が、どのようなものであれ、政府の役人や民間企業の個人に対して不適切な支払いを行ったり、事業や政府の決定に不当な影響を与えたり、不正に利点を確保したり、事業の獲得や継続を得ることを禁止しています。「不適切な支払い」には現金、贈答品、食事、接待、事業機会、雇用提供など、価値のあるものがすべて含まれます。金額の大小は関係なく、どのような額でも贈賄となります。

誰かが贈賄を求めたり申し出た場合には、それを拒否し、直ちにそのことを管理者および IDEX のコンプライアンス担当役員に報告しなければなりません。誰かが賄賂を支払った、または受け取ったと思える場合は、それを報告する義務があります。この点において会社の価値観は、事業を展開する、ほぼすべての国・地域の法律と一致しています。これらの法律の違反行為は、深刻な民事制裁金や罰金を支払う結果となったり、あるいは法律を守らなかった従業員が実刑判決を受ける場合もあり得ます。

反賄賂法の目的からすれば、IDEX のディストリビューター、エージェント、運送会社、通関業者、コンサルタント、その他会社の事業を促進する業者の行動はすべて、IDEX 自身の行動であると受け取られる可能性があります。業務契約に先立って、こういった第三者には適切な注意を払わなければなりません。

IDEX では、便宜を図ってもらうための支払金（政府の役人に少額の支払いをして、権限を持たない行動やサービスを迅速に処理または促進してもらう行為）は禁止されています。

詳細は [IDEX の反腐敗ポリシーを参照してください](#)。

公平な競争

IDEX は競争で勝つことを目指し、それに向けた努力を惜しみませんが、それは公平、誠実かつ自由で開かれた競争に限ってのことです。IDEX では、当社が製品とサービスを市場に出し、配送し販売する方法に関する世界中の独占禁止法や競争法を遵守するための取り組みを行っています。IDEX の従業員はこれらの法律を尊重する必要があります。

独占禁止法や競争法は国によって異なりますが、ある種の行為は例外なく禁止されており、犯罪として起訴される可能性があります。IDEX の従業員は次の行為を行ったり、試みたりはなりません：

- 談合、
- 価格固定や裏リベートのような不公平な価格設定を行うこと、
- 顧客や販売区域割り当て、または
- 競合他社との非公式な情報の交換。

不適切な合意とは書面である必要はありません。握手やうなずきで示される口頭での合意や暗示的な約束ですら、独占禁止法に違反する場合があります。競合他社が皆さんのいるところで独占禁止法に違反するような行為を提案または促してきた場合、どれだけ非公式な場であっても直ちにその会話を打ち切り、会話の内容を法務部門に報告しなければなりません。

詳細は [IDEX の独占禁止／競争ポリシーを参照してください](#)。

正しい判断は？

Q: 政府の役人が、少額の支払いが得られなければ工場を閉鎖すると脅してきます。

A: 支払い額の大きさや、生産性の潜在的な損失に関わりなく、不適切な支払いを政府の役人に対してするべきではありません。

TRUST

利益相反の開示と修正

従業員は、常に IDEX に最大の利益をもたらすよう行動しなければなりません。IDEX の従業員とその配偶者やその他の家族*は、IDEX の利益を犠牲にして社外の活動を進めることは避けなければなりません。そのような関与は IDEX と外部の利益または活動の間で、あなた自身が双方に同時に誠実であることができなくなり、それゆえ利益相反を起こしかねません。実際の利益相反は当然避けるべきですし、また相反する状況にあるだけでも有害な場合があり、従って避けなければなりません。潜在的な利益相反の可能性はすべて、利益相反報告書(会社のイントラネットサイトから取得するか、人事部に問い合わせてください)に必要事項を記入して、マネージャーに開示しなければなりません。マネージャーは必要に応じてコンプライアンス担当役員と協議し、それが実際に利益相反になるのか、相反する状況だけなのかを判断します。多くの場合、潜在的な相反はオープンで率直な会話によって解決できます。開示せずに、またマネージャーからどう進めて良いかについての指導を得ずに、利益相反の状況に関与し続けしないでください。

次に挙げるのは潜在的な利益相反のケースです。

親類の雇用

同じ家族に属する従業員が IDEX で仕事をすることはできますが、実際の、または潜在的な利益相反、あるいは利益相反と受け取られる状況を避けるため、従業員は自分の家族(配偶者、子供、親、兄弟)に関して、直接に採用すること、管理監督することはできず、さらに雇用の決定について、影響力を行使してはなりません。

*本規範では、「家族」とは同じ世帯を共有する近親のことで、配偶者、親、兄弟、祖父母、孫、姻戚関係、家庭内パートナーを含みます。この定義以外の家族に関しては、その関係が会社に最大の利益をもたらす皆さんの能力に影響を与えないことを確認してください。

競合他社、サプライヤー、ベンダーとの関係

従業員は、IDEX の競合他社のための仕事を禁じられています。従業員またはその家族がサプライヤーやお客様との事業または個人的な調整を行うことは、潜在的または現実的な利益相反を起こす可能性があります。従業員は IDEX のサプライヤー、ディストリビューター、あるいは会社と事業を行ったりあるいはビジネス機会を検討している第三者に対してコンサルティングを行ったり、管理職や理事、役員、パートナーとして行動したり、投資やその他の金銭的利害関係(直接または家族を通しての間接的関係を含む)を持つ場合、そのすべての関係を開示しなければなりません。

社外での活動

従業員は IDEX 以外に利害関係や何らかの関係を持つ場合があります。従業員は自由にこれらの利益を追求できる一方で、その追求が IDEX での職責を妨げることがあってはなりません。従業員は IDEX 以外の雇用や個人的活動に、時間を含めた会社のリソースを使ってはなりません。従業員は営利ビジネスの幹部職または役員の職に付く前に、法務担当役員またはコンプライアンス担当役員に書面での許可を得る必要があります。

不適切な個人的利益

従業員は第三者から、一般人には提供されない、IDEX の従業員であるがゆえに提供される個人的な利益を受け取ってはなりません。

詳細は IDEX の「利益相反ポリシー」を参照してください。

利益相反の可能性がある場合はすべてマネージャーに開示する必要があります。

不正行為

IDEX はあらゆる不正行為、窃盗、横領を禁止しています。従業員は会社の業務遂行中に、自分自身または他者に利益を誘導してはなりません。IDEX からの払い戻し要求は、旅費、接待費、医療請求、その他の業務関連項目であれ、すべて必ず合法で適切で、IDEX ポリシーを遵守したものでなければなりません。自らの営業の結果を業績目標に合わせるように改ざんしたり、その他の金銭的な利益を得てはなりません。不正行為の疑いまたはその可能性に関しては、直ちに法務部門に報告する必要があります。

詳細は、出張や支出の払い戻しに関する IDEX ポリシーを参照してください。



インサイダー取引

従業員は IDEX に関する情報や、お客様やベンダーを含む、IDEX が一緒に事業を行う様々な第三者に関する、他者が知り得ない情報にアクセスできます。従業員とその家族は、その雇用によって得た重要な非公開情報または内部情報に基づき、IDEX の株の売買をしてはいけません。重要な非公開情報とは一般的に、正当な投資家が、当社の株を売買または所持する判断を行う際に重要とみなす情報と考えられています。

重要な非公開情報の例としては次のようなものがあります：

- 公開前段階の大型の企業合併、企業買収または部門売却、
- 決算または業績結果、
- 重要なお客様またはサプライヤーの獲得または喪失、
- 会社の決算がアナリストの予測と大幅に異なる原因となるその他の事象や要因。

また従業員は、内部情報を他者に提供して(「チッピング」と呼ばれます)、彼らとその情報を基に取引を行わせることも禁止されています。

詳細は IDEX のインサイダー取引ポリシーを参照してください。

TRUST

コーポレートローン

IDEX は、関連する法律で禁止される IDEX の従業員、経営陣、重役への融資、貸付金の保証をすることはありません。これは適用される法律で禁止されています。

サプライヤーの選定とパフォーマンス

当社のサプライヤーは私たちにとって価値あるパートナーです。私たちは評価の高い第三者と協業することに努めており、サプライヤーやコンサルタントの選定は公平に行うことに注力しています。当社ではサプライヤーやコンサルタントについて、資格、サービス、競争力のある価格、職場で一体となって倫理的な業務に取り組んでいるかの視点で選定しています。当社のサプライヤーはすべて当社のサプライヤー行動規範を遵守する必要があります。サプライヤー、コンサルタント、その他の第三者の選定に関わる従業員は客観的で公平でなくてはならず、また選定プロセスの最中、その前後を通じて発生しうる、第三者側の個人的、金銭的、または所有権に関する利害を開示する必要があります。サプライヤーから過剰な贈答品や接待を受け取ることが利益相反の状況を生み出すだけでなく、ある種の法律の下では贈収賄とみなされる場合もあり、それは当社の行動規範にも違反しています。

従業員はまた、IDEX によるサプライヤーからの物品やサービスの購入を、サプライヤーによる IDEX の物品やサービスの購入を条件とするような含みをもたせる行為をしてはなりません。しかし、このことは従業員が、サプライヤーやその他の第三者に対し IDEX との適切なビジネスの遂行を奨励することを、何ら制限するものではありません。

詳細は [IDEX のサプライヤー行動規範を参照してください](#)。

当社製品の公平な広告と販売促進

私たちは当社製品とサービスを正直かつ誠実に市場に送り出しています。当社のすべての広告や販売促進行為が信頼でき、正確であることを保証することは私たちの責任です。広告で示される内容はすべて完全に実現しなければなりません。私たちはあらゆる広告やマーケティングの法律を遵守して、多くの国で事業を展開しています。



贈答品のやりとりや接待における、あなたの責任

贈答品や業務接待は、お客様とベンダーとの間の親善を促進し、前向きな業務関係を育成します。従業員はたまにごくわずかの贈答品や、時折の食事や接待の提供またはこれらに応じることは認められています。わずかな贈答品とは100米ドル(あるいは相当する外国通貨)未満のもの、または現地の法律で定められている額未満のものを意味します。従業員は決して贈答品や接待を求めたり、誘ったりしてはなりません。業務上の接待は価格、頻度が妥当でなければならず、IDEX 製品とサービスのマーケティングや販売促進に関するもので、個人的な利益をもたらすものであってはなりません。

従業員は品物を受け取ったことに影響されてはならず、また品物を送って他者に不適切な影響を及ぼそうと試みてはなりません。豪華な贈答品や、義務的な状況を生み出す贈答品や接待は認められません。現金やギフトカード、商品券、株などの現金同等品の授受は絶対に認められません。ただし例外として50米ドル以下のギフトカードは認められます。

当社に有利な行動を不適切に要求する、または見返りを求める目的で、贈答品や接待を政府役人やその家族に提供してはなりません。多くの国では、特別な法律や規制により、政府の役人に対しては、業務上の儀礼としての最低限度の贈与も制限されています。政府の役人には、現地の適用法の下で許されることが明確でない限り、何も提供してはなりません。

贈答品とは食事や接待、家族へのインターンシップや仕事、娯楽やスポーツイベントへのチケット、旅費の支出の支払いなどがそれにあたりますが、これらに限定されず、価値あるものすべてが含まれます。

詳細は [IDEX の反腐败ポリシーを参照してください](#)。

マネーローンダリングの防止

マネーローンダリングとは、個人またはグループが非合法活動の遂行を隠そうとしたり、非合法な資金源を合法に見せかけようとする処理のことです。IDEXでは適切な手段を講じて、当社の製品やサービスがマネーローンダリングのような非合法な目的で使用されないことを確認するよう取り組んでいます。また当社は信頼できる企業と協力し、合法的な業務活動を行っています。IDEX では製品とサービスに関して、承認し文書化した支払い業務を通してのみ支払いを行い、受け入れています。疑わしい、または不適切な取引を見分けるには、注意を喚起し気を配ることが重要です。

児童就労、奴隷制および人身売買

IDEX は児童就労、人身売買、奴隷制には関わらず、また支持しません。またいかなる形でも、それと知って児童就労、奴隷制、人身売買を利用する会社を支持しません。

ビジネス上の意思決定に
影響を与える目的のため、
政府役人に対して、決して
贈答や接待を行ってはな
りません。

2

TEAM

インテグリティをもち、皆が一体となつて、勝利を目指そう多様性を受け入れよう | 利己的にならず奉仕の心をもとう

職場の安全性

IDEX では従業員の安全と幸福が何よりも重要です。IDEX は、事業を展開する地域において適用される保健衛生や安全に関する法を遵守しています。従業員はすべての安全に関する法や規制、および会社の安全に関する規則に従う責任を負っています。危険なやり方で仕事をし、自分や同僚の安全性を危険にさらしてはなりません。

私たちの目標は職場でのケガや病気を防ぐことであり、あなたが IDEX のオフィスや施設で、安全上の問題や危険な状況、職場でのケガや事故、コンプライアンス違反の事象、怪我のリスクや危険を示す状況に気付いた場合には、即座に上司やマネージャーに報告することが求められています。安全上の問題がある状況や慣行が特定されれば、上司やマネージャーには直ちにその状況を改善し、再発の防止が要求されるのです。

詳細は IDEX の地域の健康および安全ポリシーとガイドラインを参照してください。



正しい判断は？

Q: 私は仕事で多くの化学薬品を使用しています。職場の安全性を保つためにしなければいけないことは何でしょうか？

A: あなたの職場にある、また職場の周りにある化学薬品を常に把握しておいてください。ユーザーガイドや安全データシートを参照することなく化学薬品を混ぜ合わせないでください。必要に応じて適切な換気と適切な保護マスクを確保してください。

TEAM

一体感と多様性の重視

IDEX では人が持つ力を信じ、様々な経歴、能力、価値観を持つ個人を尊重しています。個人個人の表現、思想、創造性、革新性、そして達成の一切を包含して促進する環境の構築を目指し、促進しています。

当社では人と思想の多様性は全員にとって、より良い職場環境をもたらすと信じています。多様な従業員を採用、育成し、継続的に雇用し続けています。個人個人が持つあらゆる経歴、経験、アプローチ、アイデアを重視しています。我々と協働する他社や個人に対しても、この考え方を共有することを求めています。

互いへの敬意

の職場では、すべての個人は敬意を持って扱われる権利があります。敬意を払われるとは、公平に、誠実に、プロとして扱われ、各人に固有の経歴、スキル、ものの見方を重視することを意味しています。敬意を示す職場では非合法的な差別やハラスメントがなく、単に法律を遵守する以上の関与を行っています。IDEX の職場環境は、不適切かつプロフェッショナルにあるまじき行動とは無縁の IDEX の価値観に沿った場所です。そして、また全員が日々ベストを尽くすことができ、もしその環境を損なう懸念があれば、いつでも報告することができる場所でもあります。

私たちは能力、発揮スキル、達成度、その他の実績を基に個人を採用や処遇を決定しています。世界中で労働と雇用に関する法律を遵守しています。私たちはサプライヤーや受託業者などのビジネスパートナーにも一貫して、当社の実施する公平な処遇と機会均等基準を守るように求めています。

差別

IDEX は様々な経歴を持つ従業員が働く職場であること自体に誇りを持ち、また事業を展開するマーケットができるだけ多様になるように、全従業員を育成するよう努力しています。私たちは人種、肌の色、宗教、民族、性別、性的嗜好、妊娠状態、配偶者の有無、国籍、年齢、身体障害(肉体的または精神的)、性別に関するアイデンティティや自己表現、退役軍人としてのステータス、遺伝情報、その他法律によって守られている特徴に基づく差別をしません。雇用の採用過程または職場での差別は認められず、厳格に禁止されています。

詳細は、[差別と雇用機会均等に関する IDEX ポリシー](#)を参照してください。



ハラスメント(性的・その他)

高い業績を上げる環境を構築し、従業員の高いパフォーマンスを引き出すには、職場環境にハラスメントやその他すべての不快な、または敬意を欠いた行為をなくすことが必要です。ハラスメントには、言葉や肉体的あるいは視覚的な行為によって他者の業務環境を妨害する状況や、あるいは職場環境を不快にさせたり、威嚇的、破壊的であったり、罵倒したり、敵対的にさせる状況が含まれます。セクシャルハラスメントは同性または異性のメンバーに対して向けられます。

以下にハラスメントの例を挙げます：

- 不愉快な性的誘惑または性的な話。
- 人種、肌の色、年齢、性別、性的指向、その他地域の法律によって守られているカテゴリーに関する誹謗するようなコメント、中傷、ジョーク。
- あるグループまたは個人をからかったり侮辱したり敵意を示す文書や画などを表示または保存すること。
- ポルノコンテンツ、猥褻コンテンツ、性的コンテンツを配布または保存すること。
- 威嚇的または脅迫的な行動。

詳細は[職場のハラスメントに関する IDEX ポリシー](#)を参照してください。

正しい判断は？

Q: 私の同僚は、性的なジョークを言う他のチームメンバーを不快に感じています。私が報告すべきでしょうか、それとも同僚が報告するのを待つべきでしょうか？

A: 間違った行動が皆さんに対して行われている場合、またはそういった行為を見聞きした場合、誰でも報告はできますし、するべきです。

オープンドアポリシー

IDEX は、従業員が労働条件に関するどんな課題についても経営者側または人事部と自由に議論できると感じられるような、オープンドアポリシーを実施しています。私たちはオープンで誠実なコミュニケーションをサポートし、従業員が疑問を抱いたら質問したり、懸念点を報告できるように取り組んでいます。

IDEX では実際の違反行為あるいはその疑いを指摘した個人、または IDEX の調査に参加した個人に対する報復行為を認めません。報復行為は、最悪の場合雇用契約終了を含む懲戒処分の対象となります。

IDEX での調査プロセス

調査チームの結成-適切な知識・客観性・思考を持つ人々の集団

調査の実施-面接と資料のレビューにより事実を把握

是正行動-必要な場合、適切な当事者に是正行動を起こし実施すよう勧告

フィードバック-適切な場合、懸念を表明した人に全般的なフィードバックを行います

TEAM

ドラッグとアルコール

職場ではドラッグもアルコールも禁止しています。業務中のドラッグやアルコールの影響やこれにより正常な機能が損なわれている状態は、会社の全従業員の安全性、健康、生産性に対する脅威となるため認められません。また、従業員による、会社の敷地（建物、駐車場、通路その他、IDEX がリースまたは所有している一切の資産）内での違法ドラッグまたは麻薬道具の使用、処理、製造、配布、運送、販売促進、販売を禁止します。会社が主催するイベントでアルコールを提供する場合がありますが、このような状況下ではアルコールに関する法律をすべて遵守しなければなりません。これらのイベントでの酩酊状態、過度に飲酒することは禁じられています。

従業員はアルコールや非合法ドラッグはもちろん、従業員の責任遂行能力を損なうほどであれば処方薬や店頭販売薬であっても、その影響下での職場への出勤または業務の遂行を禁じられています。

職場で治療のための処方薬を所持し使用することは、職務の遂行に支障がない限り認められています。

[詳細は、職場でのドラッグとアルコールに関する IDEX ポリシーを参照してください。](#)

暴力、脅迫と武器

従業員個人の安全は極めて重要です。従業員は暴力をふるったり、他者やその資産を傷つけることを意図した故意の行為を禁止されています。それには脅迫や脅しを行ったり、個人の安全や他者の資産を脅かしたり、あるいはその恐れがある行動を取ることが含まれますが、これらに限定されません。会社の地所内で従業員または他者に対して暴力または暴力による脅迫があれば、従業員は直ちに報告しなければなりません

IDEX はその敷地内で、いかなる銃器類、または主に怪我をさせるために使用する武器の所有、隠匿、使用、運搬を禁止します。この禁止事項は、自宅外のいかなる場所でも、IDEXの業務を行う場合には従業員に適用します。

[詳細は職場の暴力に対する IDEX ポリシーを参照してください。](#)

慈善事業と政治的な運動

IDEX は従業員がボランティアで地域社会の活動に参加することを選択した場合、そのサポートをします。私たちの地域社会は、人々がそこをより住みやすい場所にしようと働きかけ、努力すると、より強靱なコミュニティになります。IDEX を代表して慈善事業に寄付することは、その慈善事業に直接的または間接的に個人的な利益または関与がないビジネスユニットリーダーの許可を事前に得ている場合のみ、認められます。会社として、IDEX は一般的に法人としての寄付をどの政治的な候補者、政党、政治活動に関連する会議体に対して行わないようにしています。

個人的な選択としては、従業員は政治プロセスに参加できます。法律により、一般的に会社の資産を使用して政治的な候補者を支持したり、逆に反対することは禁じられています。従業員は業務時間中または会社の敷地内で候補者のための寄付を依頼したり、政治運動に勧誘してはならず、また IDEX は会社の施設や備品を政治キャンペーンや募金活動、また政治活動の支援に使用することを禁止しています。従業員は米国外の特定の環境下を除き、どのような形であれ、IDEXが特定の政党、政府の役人、官職の候補者を支持すると示唆してはなりません。また従業員は政治的または個人的見解や信念を、オフィスや職場や会社施設の近くで、ポスターやその他の資料を投函または配布して、宣伝してはなりません。政府の役人として勤務する場合、または政治家としての選挙に立候補する場合は、その前に法務部門に相談してください。

世界規模での企業市民としての活動と地域への奉仕

IDEX では良き企業市民となるよう尽力しています。会社は世界中で様々なチャリティ活動に寄付を行っています。IDEX Foundationを通して、リーダーシップと教育、地域社会の活動、健康と安全の領域に財政的な援助を行うことで、私たちが活動し事業を行っている地域社会に価値と前向きな影響を生み出すように努力しています。

また私たちは従業員に対して、同僚やビジネスユニットと協力して、地域社会でボランティア活動を行い積極的な役割を果たし、他者の生活に前向きな影響を与えるよう働きかけています。地域の科学、技術、工学、数学 (STEM) プログラムのパートナー協力から、ティーンセンターの改築、世界中の災害救助活動への寄付に至るまで、IDEXの従業員は精力的かつ意欲的に取り組んでいます。

就業時間中の業務目的外の勧誘禁止

職場での業務目的以外の勧誘活動は、従業員の効率性を低下させるおそれがあります。このため IDEX では次の活動を禁止しています。

勤務時間中の勧誘活動、時間に関係なく業務エリアでの業務に無関係な文書の配布行為、業務時間中または当社敷地内で IDEX を代表してのいずれかの政党、組織、委員会、候補者への勧誘行為、事前に経営陣の許可なく、または非合法の、IDEX の敷地内での非従業員による配布または勧誘行為。

2

EXCELLENCE

規律を守り、集中して業務に取り組もう | 良い効果を与える仕事をしよう長く受け継がれるような成果を築くことを目指そう

正確かつ正直に記録すること

従業員は正確で信頼性の高い帳簿と記録を残し、適用される会計手順と内部コントロールを遵守することが義務付けられています。会社の帳簿と記録に記載する情報を虚偽記載したり、偽造したり、日付を遡って改変することは、本規範および法律の深刻な違反となる恐れがあります。業務記録には財務会計記録、業務計画、請求書、給与支払い記録、在庫報告、環境報告、怪我と事故の報告、治療費および治療にかかる休暇の請求、支出報告、タイムカード、証券取引委員会に提出する報告が含まれますが、これらに限定されません。従業員としての皆さんの義務とは、帳簿や記録への登録が、あいまいさや間違いが無く、かつ適切なタイミングで完了すること確実にこなすことです。いかなる理由または目的であっても、非開示または記録の無い資金や会社の資産が無いように処理し、維持しなければなりません。誰かが不適切または不正確な業務記録を準備するように頼んできた場合、即座に報告しなければなりません。

製品のインテグリティと品質

IDEX は厳正な製品のインテグリティを約束しています。IDEX のすべての従業員は、自身が管理する製品のインテグリティを確保する責任と、製品のインテグリティをサポートするために自身が作成する文書の正確さについての責任を負っています。当社の製品に関する業務上の欠陥や材質の不備、記録の偽造、虚偽の認定や申し立ての意図的な隠ぺいを行わないことは、IDEX のポリシーです。従業員は、業務や材質の欠陥、または記録の偽造に関する隠蔽が疑われる場合、または実際に知り得た場合、直ちに上司または法務部に相談しなければなりません。

データプライバシー

私たちは従業員、お客様、サプライヤー、ビジネスパートナーのプライバシーを尊重しています。データ保護とプライバシー法、規制、基準とその執行は国によって変わります。私たちは IDEX のプライバシーポリシー、契約上の義務、事業を展開している国で適用される個人情報保護法を遵守して、個人を特定できる情報、またはその他の機密情報を収集、使用、移管、保護しています。私たちは決して個人の情報を、それを知るべき業務上の理由がない何者かと共有することはありません。人事考課、家族や財務情報、給与情報、医療情報など、ご自身や他者に関する個人情報を、セキュリティ対策が施されていない良く見える状態で、デスクトップやその他簡単にアクセスできる場所に残してはなりません。



EXCELLENCE

機密・極秘情報と知的財産

IDEX の従業員として、会社の機密・極秘情報を保護し、これらの情報は知る必要のある個人とのみ共有しなければなりません。私たちの会社の機密情報、極秘情報、取引上の秘密情報は貴重な財産で、事業の成功をもたらす重要な要因のひとつです。このような情報には次のような項目が含まれますが、これらに限定されません：

- 機密事項であるお客様や取引先の情報。
- 機密事項である製品価格情報。
- 非公開の財務情報や製品開発情報。
- 市場データと分析データ。
- 工学情報および製品仕様、図面、設計図。
- 企業買収や子会社売却を含む重要プロジェクト。
- コスト情報。

従業員はまた妥当な保護手段を用いて、機密情報の偶発的な、あるいは非合法または未承認の開示を防がなければなりません。第三者と機密情報を共有する前に、第三者と機密情報に関する契約を結んでいることを確認してください。

機密・極秘情報を内部または外部に提供することを求められる場合があるかもしれません。多くの国には、機密情報の移管を取り締まる厳格な法律があります。IDEX 内部または外部に機密情報を開示する前に、開示先が以下の条件を満たしていることを確認してください。(1) 情報を開示される承認を得ていること、(2) 開示されるデータが機密情報であると認識していること、(3) データの使用方法を熟知していること。

従業員はまた会社のブランドを守り、IDEX の名の下に事業を行う様々な製品のブランド名の不適切な使用を防がなければなりません。

[詳細は会社の機密情報に関する IDEX ポリシーを参照してください。](#)

サイバーセキュリティ

会社情報の収集、保存、管理に関して技術に依存すればするほど、セキュリティ違反に対して脆弱になります。人為的なミス、ハッカーの攻撃、システムの不具合は多額の財務的損害を起こしたり、当社の評判を傷つける可能性があります。常に慎重に気を配り、サイバーセキュリティに対する攻撃の可能性を防ぐために妥当な対策を講じることが重要です。

デジタル機器を使って会社のメールやアカウントにアクセスする場合、機密情報や機密データに対するセキュリティリスクを負う可能性があります。従業員は次のガイドラインに従って、会社が供給するコンピュータ、タブレット、携帯電話の安全性を確保しなければなりません。

- あらゆる機器はパスワードで保護します。
- 自分の機器を自分がいない状態で放置しないようにします(すなわち「ロック」機能を活用します)。
- セキュリティの更新があれば即座にインストールします。
- 会社のアカウントとシステムには、安全なプライベートネットワーク経由でログインします。
- 機密データを他の機器に移管しないようにします。
- 機密データを受け取る側が、適切な承認を受けた個人または組織であることを確認します。
- デジタル機器の盗難や紛失を含め、セキュリティ事象はすべて直ちに報告します。

競合情報と競合他社情報

従業員は競合他社に関する情報を収集、共有、使用することを奨励されますが、しかしその方法は合法で倫理的でなければなりません。私たちが機密・極秘情報や取引上の秘密事項を重視し保護しているように、他者のこれら情報にも節度を持つべきです。

公表されている情報や、倫理にかなった調査を通して競合情報を収集することは認められています。第三者に競合他社について質問したり、そういった情報を受け取ることは、その第三者が情報を明らかにしないのは合法的義務、契約に基づく義務、あるいは倫理的な義務による理由が認められない場合には、問題ありません。

従業員の皆さんには、以前の雇用者と共有していた機密・極秘情報や取引上の秘密事項に関して、契約上の義務を尊重するように求めます。

競合情報を取得するために、例えば窃盗やハッキング、不法侵入、虚偽表示、プライバシーの侵害と言った秘密の、非合法の、あるいは反道徳的な行動は、決して取ってはなりません。第三者と競合他社の間で結ばれている秘密保持契約に違反して公開された競合情報、またはそう思える理由がある競合情報を受け取ったり、開示したり、使用してはなりません。他者の所有物である業務上の機密情報を入手した場合、これらが適切に扱われるよう、即座にマネージャーと法務部門にご相談ください。

また従業員の皆さんには、当社のサプライヤー、ビジネスパートナー、お客様の機密情報を不適切に利用しないようにお願いします。

監査、捜査および政府の聞き取り調査への協力

従業員は内部および外部の会計監査と捜査に全面的に協力する必要があります。従業員は会計監査や捜査に関する文書を破棄してはならず、また完全で信頼のおける方法ですべての関連する情報を開示しなければなりません。従業員は、会社の財務諸表の監査を行う独立公認会計士や公認会計士、内部監査や捜査に従事している IDEX 内部監査部門、法務部門またはコンプライアンス部門のメンバーに対して、不正に影響を与えたり、強要したり、コントロールしたり欺いてはなりません。従業員は捜査内容についての機密を守らなければなりません。

監査または捜査の最中にこれを妨げたり、協力しなかったり、または誤った情報や不正な情報を提供した従業員は、最悪の場合雇用契約終了を含む懲戒処分の対象となります。

従業員は内部および外部の 監査や調査に全面的に協力する必要があります。

EXCELLENCE

会社の資産保護と会社の電子機器・システムの使用

従業員には、会社のすべての資産や設備について、その保全と、適切な使用と効率的な使用に専念して利用する責任があります。資産や設備にはコンピュータのハードウェアやソフトウェア、ノート型パソコンとアクセサリ、コピー機、携帯電話、用具やオフィス用品、インターネットサービス、カンパニークレジットカード、スクラップや使用しなくなった設備、車両、土地、建物が含まれます。従業員には会社の資産や設備を損失、損害、盗難、詐欺行為、破壊から守る責任があります。会社資産の窃盗は、それが物理的な資産の窃盗であれ、会社の時間や支出を意図的に誤って報告することにより発生する窃盗であれ、雇用の終了を招く恐れがあります。

会社の電子機器・システムなど電子的なリソースの主な目的は業務使用ですが、職務に支障が出ず、法律や会社のポリシーに違反しない限り、ある程度の個人使用は許可されています。会社は IDEX ITシステムに送信される、あるいは受信する、または保存する全情報へのアクセスに関して、正当な業務上の理由があり、法律で禁止されていない限り、適切な使用を保証されています。会社のリソースを使用する場合、従業員はすべての反差別、反ハラスメントポリシーを遵守しなければなりません。会社のリソースを使って人を侮辱したり、差別したり、嫌がらせをしたり、中傷したり、脅したりするコンテンツを送信、保存、閲覧することは禁止されています。従業員は会社のリソースを使って宗教または政治目的で勧誘を行ったり、会社の事業に無関係な活動を行ってはなりません。

従業員は適切なマネージャーから具体的な承認を得ていない限り、会社の資産を貸し付けたり、借り受けたり、売却したり、廃棄してはなりません。

詳細は、[IDEX の資本的資産管理ポリシー](#)と、[IDEX IT システム適切使用ポリシー](#)を参照してください。



正しい判断は？

Q: 私は出張が非常に多いのですが、出張中にコンピュータでニュース記事を読んだり、映画を観ても構いませんか？

A: はい、構いません。ある程度であれば、会社の電子リソースを個人使用しても構いません。会社のリソースの個人使用が過剰でないかどうかの判断は、自身の思慮分別で行ってください。

ソーシャルメディア

私たちの発言はメールやブログ、投稿、ツイートで瞬く間に多くの人に伝わります。そのため、ソーシャルメディアでの発言には正しい判断と注意が重要となります。会社所有の機器を使用する場合でも個人の機器でも、決して機密・極秘情報を開示したり、IDEXに関する虚偽の情報や噂を投稿してはなりません。あなたがマネージャーまたは監督者の場合、業務関連のネットワーキングやその他の正当な業務目的がある場合を除き、非管理職の従業員とソーシャルメディアで関係を持つことを避けるように注意すべきです。ソーシャルメディアをIDEXでの職務の一部として使用する場合、会社ポリシーがソーシャルメディア環境にも適用されることを忘れないでください。職務以外でソーシャルメディアに投稿する場合は、自分の個人的な意見を表明しているのであって、会社の意見ではないという点を常に明確にしてください。

詳細は [IDEX のソーシャルメディアポリシー](#)と [IDEX のブランディングガイドライン](#)を参照してください。



正しい判断は？

Q: ソーシャルメディアに個人的な政治的見解を投稿しても構いませんか？

A: はい、従業員は個人的な政治信条を表明する権利を持っています。ただし、（表明する際には）常に注意を払い、正しい判断を行ってください。くれぐれも個人の政治信条が、IDEX の政治信条であるとは受け取られないよう努めてください。あなたの組織の従業員が、ソーシャルメディアネットワークに入っている場合、その投稿内容には注意してください。また、他の従業員に対して、あなた個人の見解に同意するように強制しないでください。

EXCELLENCE

メディア対応

株式公開企業として、当社は重要情報の公開に関して厳格な規制の適応を受けているため、IDEX 社外のコミュニティに対しては「一ヶ所でまとめて」情報を発信することが重要になります。時には、メディアが会社に関することで皆さんに接触することがあるかもしれませんが、あらゆる質問には誠実に、完全に回答することが私たちのポリシーです。ただし、メディアから連絡を受けた場合、情報の提供は控え、直ちに上司と法務部門に連絡しなければなりません。そうすることで、会社は一貫した正確な情報をすべての適切な当事者に伝えることができ、また社外の第三者に対する未承認事項または機密事項の開示を最小限に抑えることができます。

法的な手続き

時には、会社は政府の規制当局からの正式な法的要求や聞き取り調査に応答する必要があります。要求には召喚状、訴状、出頭命令、その他公的文書が含まれます。こういった文書を受領した従業員はすべて、即座に法務部門に転送しなければなりません。さらに電話や直接の面談で、法定代理人、政府役人、法執行官と接触した場合、直ちに法務部門に連絡してください。法務部門は、会社としての回答を調製するため、法律で認められている聞き取り調査や捜査について把握しておく必要があります。私たちは政府機関に完全に協力します。そのため全従業員には、政府の聞き取り調査では事実に沿った正確な情報を提供することを求めます。

会社に対して指示をする裁判所や政府の文書の中には、規則によって、指定された会社の代表者に個人的に配送する必要があるものがあります。召喚状のような公文書の受領は会社から承認されていない限り、そのような文書の受け取りは拒絶しなければなりません。拒否の理由を説明するよう求められたら、自分がその文書を受け取る権限を持つ人物ではない旨を伝えてください。

環境保全

IDEX は環境保護に関する企業の社会的責任には真剣に取り組んでおり、環境保護の適用される法律や規制を遵守しています。私たちは事業が環境に与える影響の削減する方法を検討し、エネルギー使用量を管理し、環境への負荷を最小化することで、常に環境への配慮を心がけています。

正しい判断は？

Q: 政府の規制当局から連絡を受けた場合どうすればいいですか？

A: マネージャーと法務部門に直ちに連絡してください。

国際取引

国際的なサプライチェーンと取引チャンネルを持つグローバル企業として、輸入、輸出、取引に関する現地の法律と国際法を遵守し、政府機関へ正確なデータと文書の提供を約束することは、IDEX のポリシーです。従業員は、次の項目を管理する現地の法律、国際法と規制に準拠する必要があります。

- 査定に関する法律を含む輸入、関税分類および判断がなされた国、
- 輸出管理、禁輸措置と貿易制限、認可、ボイコット、
- 不当廉売防止や相殺関税などの不公平な取引慣行の救済手段。

政府機関による取引情報の要求や、IDEX の施設訪問時に政府役人からのその場で要求された事項は、その認可や対応のためコンプライアンス部門に伝える必要があります。

詳細はコンプライアンス部門までお問い合わせください。



EXCELLENCE

政府関係の顧客対応に関する遵守事項

IDEX は世界中の市、地域、州、国の政府、および政府が所有する機関との契約に関する規則にすべて従います。政府機関と協力する場合、従業員にはすべての適用される法律、規則、規制を知りそれを遵守する責任があります。法務部門に連絡してサポートを求めてください。政府顧客と取引する場合、不適切と目に映るいかなる行為も避けなければなりません。政府に対して誤った、または不完全な供述を行ってはならず、政府との契約に影響を及ぼすために贈答品、現金を送ったり、接待やその他の価値のあるものを提供してはなりません。また会社を代表して提出するすべての申立文書、請求書、供述文書は信頼できるもので、誤解を招くものであってはなりません。

記録の保存

IDEX では書面または電子的な業務記録を、通常業務の一環として、当社の記録維持ポリシーを遵守して作成し、保持し、破棄します。内部管理の一部として、IDEX では全企業取引を適切に記録、分類、文書化する必要があります。

時には、所有している文書が告訴、捜査の中断または脅威、召喚状、その他の規制措置に関わる場合があります。皆さんが管理している文書が「法的保持」の対象であることを通知された場合、法務部門からその保持が解除されたことを知らされるまで、その文書を破棄してはなりません。

詳細は IDEX の記録保持ポリシーを参照してください。

3

ホットラインへの 連絡

ホットラインに連絡する際に 求められること

ホットラインは毎日24時間利用できます。

匿名で構いません。

ステップ 1

ホットラインへの連絡は電話、メール、イントラネット、インターネットで行えます。

ステップ 2

応答は、IDEX 社外のオペレーターが複数言語で行います。匿名で構いません。

ステップ 3

オペレーターは事象発生の日付、関与している人、事象が発生している場所を含めた事案または懸案事項についてメモを取ります。

ステップ 4

オペレーターは、本社のホットラインチームがアクセスできるオンラインポータルに情報を入力します。皆さんにはID番号が通知され、その事例のステータスをオンラインでチェックできます。

ステップ 5

ホットラインチームはすべての事象を調査します。匿名の ID 番号を通じて、追加情報を提供するように求められる場合があります。ホットラインチームは **45** 日以内に調査を完了するように努力しますが、これは調査する事象の性質により異なります。

ステップ 6

調査の結論として、報告が立証された場合、雇用契約終了を含む懲戒処分が下されま。調査結果は機密のため、訴えた人に対してどのように問題を解決したのかは報告されません。

倫理ホットラインへの 連絡方法

電話: **1.866.292.2089** (国際電話番号は以下に表記)

ウェブ: www.ethicspoint.com

国際ホットラインアクセス番号

倫理ホットラインに電話する場合は、次の電話番号を使用してください:

国	無料通話国際電話番号
オーストラリア	1-800-339276
オーストリア	0800-291-870
ベルギー	0800-77004
ブラジル	0800-891-1667
カナダ	1-866-292-2089 または 1-855-350-9393
中国(テレコム)	400-6-000-637
デンマーク	8088-2809
フランス	0800-902500
ドイツ	0800-1016582
香港	800-964214
インド	000-800-100-1071 または 000-800-001-6112
アイルランド	1-800-61-5403
イタリア	800-786907
日本(テレコム)	0066-33-112505 または 00531-121520
ヨルダン	1-880-0000 (直通番号 866-292-2089)
韓国	00798-14-800-6599
メキシコ	001-800-840-7907 または 001-866-737-6850
ポーランド	0-0800-121-15-71
オランダ	0800-022-6174
ニュージーランド	0800-447-737
シンガポール	800-120-4201
スペイン	900-991498
スウェーデン	020-79-8729
スイス	0800-56-2907
アラブ首長国連邦	8000-555-66 または 8000-021 または 8000-061 (直通番号 866-292-2089)
イギリス	0800-032-8483
アメリカ	1-866-292-2089
プエルトリコ	1-866-292-2089

4

規範の 管理

責任

本規範の管理責任は法務担当役員と取締役会の監査委員会の監督のもと、コンプライアンス担当役員が負います。

年次認定とトレーニング

全従業員は本規範を読み、理解し、遵守することを毎年証明する必要があります。また従業員は定期的に規範のトレーニングを受けなければなりません。毎年の規範認定を得ない場合やトレーニングを受けない場合、懲戒処分の対象となり、最悪の場合雇用契約を終了します。

規範の改訂

時々本規範を改定する必要がある場合があります。規範の内容改訂は会社の指名委員会およびコーポレート・ガバナンス委員会に報告されなければなりません。従業員には規範の更新はすべて通知されます。

当社の行動規範の権利放棄

規範の権利放棄の要求は法務担当役員またはコンプライアンス担当役員による書面での承認を受け、取締役会に開示する必要があります。



基本ポリシー

本規範はすべての職場行動に対処しているわけではありません。会社は本規範における事象と、本規範がカバーしない事象に対処するポリシーやガイドラインを幾つか設定しています。すべての **IDEX** ポリシーには会社のイントラネットサイトからアクセスできます。従業員はイントラネットサイトと現地のビジネスユニットのポリシーをチェックして、最新の一番適用されるポリシーを確認しておく必要があります。また現地のビジネスユニットポリシーや、現地でのガイドラインとなるハンドブックも確認する必要があります。以下は、重要な企業ポリシーのリストです：

反腐敗ポリシー・独占禁止／競争ポリシー

IDEX IT システム適切使用ポリシー

資産処分ポリシー

企業機密情報ポリシー

利益相反ポリシー

ドラッグおよびアルコール使用ポリシー

雇用機会均等ポリシー

従業員への支出返金ポリシー

インサイダー取引ポリシー

記録保持ポリシー

関係者取引ポリシー

ソーシャルメディアポリシー

サプライヤー行動規範・

商取引コンプライアンスマニュアル

職場のハラスメントポリシー

職場暴力ポリシー

詳細は、これらポリシーと、その他適用されるビジネスユニットと **IDEX** ポリシーを参照してください

A man with glasses and a mustache, wearing a light blue polo shirt, is working with a metal frame in a factory setting. The background is dark with some industrial equipment visible. The text "規範を実行する" is overlaid on the image.

規範を実行する

